

2007年8月発行

## <第5回>タイトル：夏と言えば・・・？

今年も暑い夏ですね！ 夏と言えば怖い話の季節です。そこで今月のコラムは霊をテーマにしてみました。霊の話で少しでも涼しくなってもらえればと思います？ でも...、人が怖い話で涼しくなるのは恐怖によって立った鳥肌を、寒さによって立った鳥肌と勘違いすることや、怖さから来る緊張で暑さを感じなくなるからだと言われていました。また、心理学の視点から霊を考えると、葬式の日死んだ人の霊に会った、お墓や、古い時代に戦があった場所や、自殺の名所などで霊を見ることが多い、などは霊を見る側が霊が出ると言われている状況や場所で、自分の頭の中に霊を創りあげてしまうものとして説明ができます。もちろんそれだけで全ての説明ができるわけではありませんが、霊は本当に存在するのでしょうか...？

最近、霊とともに語られるものに前世があります。「前世であなたは武士だった」とか、「前世であなたは妖怪だった」などと言われてたりします。前世で妖怪だったというのは怪しいけれど、前世自体は当然あるものとして語られています。しかし、前世は仏教思想の輪廻転生に由来する考え方です。人は生まれ変わることによって生と死を繰り返し、やがて昇天して仏になるなどの思想に由来するものです。ですからキリスト教を信仰している西欧諸国では前世はありません。キリスト教では死者は神の国ができる時に蘇るので前世は存在しないことになるからです。つまり、仏教思想のある地域だけに前世が存在するという事は前世は事実として存在するのではなく、人の頭の中に存在すると言うことです。

霊を否定するだけでなく存在の可能性を考えてみましょう。透視やテレパシーといった超能力の科学的な検証実験では、正確に再現はできないけれど偶然を上回る確立で透視やテレパシーが成功することで、検証できないけれど何かのエネルギーの存在はあると結果が得られています。つまり霊も人間が発する未知のエネルギーだと考えることもできるわけです。ただ、エネルギーは拡散するものなので自縛霊のように一定の場所にとどまるエネルギーの存在は不自然になってしまいます...

上記のように考えると、前世のような怪しい話はあるにせよ、霊は存在するともしないとも言えません。しかし、得体の知れないものが怖いと感じるのは生命を守るための正常な逃走反応です。私も霊は怖いと感じます。それでも霊が存在するのなら是非会って話がしてみたいと私は思っているので、霊が見えるという人や、見える人を紹介できる人がいたらPAMの事務所を通して私へご連絡をお願いします。そして、この夏に心霊探検に同行する人も募集します。是非ご応募を(事務局Tまで)！

パーソナルアシスタント町田 194-0013 町田市原町田 2-7-19-106 Mail : [HYPERLINK "mailto:pam@w7.dion.ne.jp"](mailto:pam@w7.dion.ne.jp)  
[pam@w7.dion.ne.jp](mailto:pam@w7.dion.ne.jp) 緊急時:090-1406-9367